

NPO 法人
恵那市坂折棚田保存会



恵那市
会員紹介

note

- 所在地: 恵那市中野方 782-1
- TEL.: 0573-23-2032
- mail: info@sakaori-tanada.com
- 活動歴: 2008 年活動開始 活動歴 10 年
- HP: http://sakaori-tanada.com/

私 たちは、坂折棚田の景観保全にとどまらず、山全体の環境を守り、都市との交流を通じて豊かな潤いのある地域社会づくりを目指しています。

平坦地ですら耕作放棄地が増えていく現在、維持がより難しい棚田は、高齢化とも相まって厳しい状況が進んでいます。一方で、日本の原風景ともいえる棚田の風景を求める声が増しているのも事実です。

私たちは、棚田オーナー制度をはじめとする都市農村交流事業や

棚田ブランド開発、棚田文化伝承事業等を通して、都市の方々のつながりを深め、石積全にご協力いただきながら、美しい棚田を次の世代へと繋いでいくべく活動を進めています。



郡上市
会員紹介



和良おこし協議会

note

- 所在地: 郡上市和良町下洞 554
- TEL.: 0575-77-2277
- mail: info@waraokoshi.com
- 活動歴: 2011 年活動開始 活動歴 7 年
- HP: http://waraokoshi.com/

和 良おこし協議会は、30名ほどの町内外から集まる有志により構成された住民グループです。

会社員、公務員、農業者、自営業など様々な職種、幅広い年齢層で構成されていて、お互いを尊重し合いながら、和良町で楽しく暮らすための地域づくりを目的に活動しています。

活動内容は、町内の15の集落が抱える課題解決のための活動をはじめ、空家を活用した移住促進や移住定住のための情報提供、不安解消のためのサポート等を行っています。

古民家再生塾で回収した拠点施設『わらおこし』では、「田んぼオーナー制度」「体験型ツーリズム」「和良鮎などによる食と文化の交流」など、様々な都市農村交流を展開しています。



事務局だより
information

2019 年が明けたかと思ったら、もう 2 月です。このスピードだと、3ヶ月もしたらまた新年を迎えそうです。(笑) 時が経つのが早いのは、歳のせいではなくて、日々忙しく充実しているからです。(笑)

「ぎふの田舎へいこう!」
推進協議会

〒501-4307 岐阜県郡上市明宝二間手 606-1
郡上市役所明宝庁舎内

- TEL: 0575-87-0128
- FAX: 0575-87-0131
- E-mail: gifuina@gmail.com
- HP: https://gifu-inaka.jp

ヒト・モノで
つながる上流と下流

2018.12.19(水)
13:30~16:15(12:30開場/17:00閉場)
ウイंकあいち 5階小ホール1,2

参加費
無料
※岐阜県民が主催です
※岐阜県民以外の方は別途
参加費がかかります
2018.10.31(日)

去る1月16日、白川町民会館にて「農泊・民泊勉強会」が開催されました。

主催した白川町観光協会も、町内でどれくらい農泊や民泊

白川町で
農泊・民泊
勉強会開催

勉強会は、事務局長の三島が自ら行った事業と郡上市の取り組みを例に講演し、その後グループに分かれて参加者自身が農泊の企画を考えるワークショップが行われました。

この間、活発な意見交換が行われ、終始熱気あふれる会となりました。

木曾三川
シンポジウム
で講師を務める。

昨年の12月19日、名古屋市の「ウイंकあいち」で、第9回木曾三川流域連携シンポジウムが開催されました。

「ヒト・モノでつながる上流と下流」というテーマで行われたこのシンポジウムで、事務局長の三島が「流域をヒトでつなぐ」と題して講演しました。

この中で、上流は下流に対してふるさとの特徴をアピールすること、下流は上流の様々な暮らしに関心を持つことの大切さを訴えました。

その他、美濃加茂市の山田夕紀農林課長補佐や畑中直樹地域計画建築研究所(株)大阪事務所副所長のお話と、3人によるパネルディスカッションがありました。

に関心があるか手探り状態でしたが、蓋を開けてみると百人近い参加があり、関心の高さを証明する結果となりました。

勉強会は、事務局

